



日本看護科学学会 若手の会
第3回北海道エリア検討会

はじめての国際論文投稿: 突破口からAcceptまでの道のり



2025 年 8 月 24 日（日）、第3回北海道エリア検討会をオンラインにて開催いたしました。今回の検討会では、日本看護科学学会の活動・評価報告書（2023-2024 年度）をもとに、若手研究者の国際発信をテーマに据え、国際論文投稿の葛藤や工夫を共有して、今後の取り組みへの動機づけやヒントを得ることを目的に企画してみました。



本検討会には、全国各地から 21 名（北海道 7 名、北関東 1 名、南関東 8 名、甲信越・北陸 1 名、中国・四国 2 名、九州・沖縄 2 名）の皆さまにご参加いただきました。講演では、荻原氏の「エラー＆トライで気づけた国際論文の投稿日記」、石貫氏の「英語が苦手な私でも Submit できたワケ」が発表され、若手研究者が国際論文投稿に挑戦する際の課題や工夫などが取り上げられました。

フリーディスカッションでは、参加者間で国際論文の実体験に基づく査読対応や AI を利用した英文作成のテクニック、ジャーナル選択などに関する情報交換が活発に行われました。本検討会は、国際論文投稿の経験や工夫を共有できる有意義な場となり、若手研究者にとって新たなネットワークを広げる機会にもなったと考えています。

参加者アンケートのコメント（抜粋・一部改訂）

- 国際論文投稿のための準備に必要なことが明確になった。
- 国際誌の投稿経験はなかったが、実際の投稿がアクセプトされるまで非常にわかりやすかった。
- 英文投稿に気を付けているポイント、使用するツールが大変参考になった。
- 自身の研究活動への活力と実践的支援が得られ、とにかく素晴らしい内容満載だった。
- 看護研究者としての今後の展望と活動計画をもとにお話いただき、大変勉強になった。
- 講演の内容に大変勇気づけられ、論文投稿を頑張ろうと思った。
- アットホームな雰囲気で遠方の方々とも話しやすく、とても良い時間だった。

北海道エリアコーディネーター

荻原弘幸・黒木慎一・石貫智裕・片川俊太郎